

プラタナス

那須赤十字病院 広報誌

No. 19

平成29年11月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 **日本赤十字社** 那須赤十字病院
Japanese Red Cross Society



診療科紹介

糖尿病・内分泌内科

登録医紹介

医療法人 社団豊心会 藤田医院

特集チーム医療

糖尿病透析予防診療チーム

マイタウンまつり2017

第3回病院祭「マイタウンまつり2017」を開催しました!

バースセンター同窓会

看護師コラム

マイタウン・マイホスピタル
ミニニュース

お知らせ

大田原市で栃木県
防災訓練が実施
されました



スタッフと連携し 新規の取り組みを導入しています！

糖尿病・内分泌内科部長 柳 一徳

**当院における糖尿病・内分泌内科
について**

皆さん、こんにちは。那須赤十字病院 糖尿病・内分泌内科の柳と申します。今回「プラタナス」の紙面にて当科を取り上げて頂き、誠にありがとうございます。折角の機会でございますので、当科の診療体制や取り組みにつきまして、ご説明させていただきます。

当科は、2014年度より獨協医科大学 内分泌代謝内科との提携に基づき、1名の医師が赴任しております。本年度からは私及び若松医師の2名体制となり、病棟・外来での診療を精力的に行っております。木曜午後には甲状腺超音波及び穿刺吸引細胞診を超音波及び外来看護師の協力の下で実施しており、甲状腺腫瘍や癌の精査・診断も行ってまいります。



左から 柳 一徳先生 若松 翔先生

外来と病棟でそれぞれ専門的な看護支援

また当院は相馬・磯 両糖尿病認定看護師を要し、外来と病棟でそれぞれ専門的な看護支援を行っております。さらに糖尿病の基本治療として、第1・3土曜の午前中に糖尿病教室を開催しております。医師・歯科医師・看護師・薬剤師・検査技師・管理栄養士・理学療法士・歯科衛生士などのスタッフが各分野から多角的な情報提供を行っており、糖尿病の病態や食事・運動・薬物の各療法をしっかりと知ることができます。当院受診の患者様を中心に行っておりますので、基本治療強化が必要な患者様がおられましたら、ご紹介ください。

新規の取り組みの導入

なお新規取り組みとしては、入院での糖尿病治療クリニカルパスを導入致しました。糖尿病治療の平均化と効率化を目的に専用治療プログラムを作成し、多くの患者様に安定的で質の高い治療を約2週間受けていただけるようになりました。内服とインスリン導入用の2つがあり、すでに運用を始めております。適応の患者様がおられましたら、よろしくお願い致します。また、内分泌内科として負荷試験を少数ではありますが、検査入院にて行い始めました。さらに、糖尿病の院内連携・退院支援として糖尿病回診も新たな試みとして開始しております。

今後は、自己血糖測定の実環境整備や地域連携などの課題に取り組み、少しでもより良い糖尿病治療環境を創っていかれたらと考えております。最後に、当科をご支援いただいている多くの方々に感謝申し上げます。



那須赤十字病院糖尿病ケアチーム

診療所の先生方はみなさんの健康を支えてくれる心強いパートナー。こちらのコーナーでは日々当院と連携いただいている診療所の先生を紹介していきます。
今回は「藤田医院」をご紹介します。

対象疾患：内科・外科・胃腸科・肛門科



藤田院長

先生にインタビュー

当院との医療連携について期待されていることはどのようなことですか？

当院は地域に根付いた有床診療所です。私は元々消化器外科医ですが、内科や外科中心にできるだけ自分で診れる範囲の患者さんを入院治療しておりますが、対応困難なケースや、緊急を要し、すぐにでも転院させたい患者さんを地域連携室の皆様のご努力もあり、スムーズに受け入れていただけるので助かっており那須赤十字病院には大変感謝しております。また、時間外の緊急事態にも対応していただき心強い存在となっております。これからもよろしくお願い致します。

また、今後も数少ない有床診療所として、ヘルニアや肛門関係の手術患者、老人の方、特に地域連携の機能が発揮されたと言える那須赤十字病院からの紹介患者さんを積極的に受け入れ、微力ながらお役にたてれば、と思っております。

毎日忙しいと思いますが、休日はどう過ごされていますか？

私は入院施設を持っているので基本的に遠くへは行かず、近場で楽しんで気分転

換をしております。これからはマラソンのシーズンとなり、11月と2月の大会で10回目のフルマラソンをめざし日々トレーニングしております。さすがに、大会翌日の診療はしんどいですね。

また、夜は1960年代製の真空管アンプ（マッキントッシュMC30、マッキントッシュMX110）、スピーカー（アルテックA7）が奏でるジャズを聴きながらのお酒は最高の至福の時です。ついつい飲み過ぎてしまいます。10年位前よりジャズにつられて始めたテナーサクソ演奏も楽しいストレス発散です。

地域の方々、患者さんへ一言お願いします。

地域に根付いた医療をするということが一番です。実際診ているのは内科が多いですが外科的な肛門疾患、外傷なども十分対応でき、時折レスパイト入院（一時的な短期入院）などにも対応しているので地域の方に頼りにして貰っていると感じております。自宅が診療所と続いている場所にあるので具合が悪い患者さんがいても、夜間急変してもすぐに対応できます。

私は祖父、父に続き3代目であり、ずっ

基本情報

と地元ですので所謂地域医療に徹して野崎地区の町医者としてなんでも診るといふ想いで頑張ります。

- 院長
藤田 茂信
- 住所
大田原市野崎2-7-14
- 電話
0287-29-0010
- 診療科目
内科・外科・胃腸科・肛門科
- 休診日
土曜午後、日曜、祝祭日



チーム医療とは従来、医師が中心となった医療を、職種の異なる医療従事者が、お互いの専門性を発揮し、スムーズに連携していく、患者中心の医療です。医療従事者は、医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・社会福祉士・管理栄養士・検査技師・放射線技師・事務など多職種で構成され、対等の立場でお互いの意見を尊重し、個々の患者さんの状態に合わせた質の高い医療を提供します。当院のチーム医療は全部で10チームになります。第5回の今回は「糖尿病透析予防診療チーム」を紹介します。

「糖尿病透析予防診療チームとは」

世界中では糖尿病の人口が急増しています。糖尿病人口の世界ランキング1位は中国で9000万人、2位インド、3位米国、驚くことに日本は6位の1070万人¹⁾と上位に位置しています。厚生労働省の2014年「国民健康・栄養調査」でも、糖尿病有病者（糖尿病が強く疑われる人²⁾）の割合は、男性の15.5%、女性の9.8%で、2006年の調査に比べ増加していることがわかりました。当院においても、多くの糖尿病患者の方が受診をされています。

糖尿病の怖いところは、血糖コントロールの悪い状態が長期間続くと、自覚症状がないまま体中の血管が障害され、三大合併症といわれる糖尿病神経障害、糖尿病網膜症、糖尿病腎症や動脈硬化に伴う心筋梗塞や脳梗塞、末梢血管障害などの合併症を引き起こすことです。辛い症状や日々の生活が不自由になるばかりでなく重症化すれば命の危険も伴います。

糖尿病腎症は、進行すると腎不全を起し透析が必要となります。透析をはじめの原因となった疾患を見てみると糖尿病腎症が1番多く新規導入全体の43.7%を占めています。年間1万6,072人が該当します³⁾。糖尿病が原因で透析となった方の場合、心不全や心筋梗塞、足壊疽をおこす危険性が高いともいわれています。

そこで当院では、糖尿病腎症の発症と進行を予防し透析導入をくいとすることを目的として、2014年に糖尿

病透析予防診療チームを結成しチームによる療養支援を開始しました。

【構成人員】

糖尿病内分泌内科医師2名、看護師長2名、看護係長2名、糖尿病看護認定看護師2名、透析看護認定看護師1名、管理栄養士2名、

【活動内容】

毎月カンファレンスを開き、メンバー全員で患者様の病状や治療等について話し合い、患者様の理解を深め、療養を支援する上での目標と計画を立てています。

診察の際、医師から糖尿病腎症の状態や薬物治療、生活における注意点について説明を行います。

看護師と管理栄養士が診察の待ち時間や診察後の時間を活用し、病状に対する不安や自己管理における疑問、困っていることなどをお聞きし、食事や運動療法、注射薬や血糖自己測定などの自己管理を、出来る限りストレスなく継続していただける工夫を患者様と一緒に考えています。また、前向きに糖尿病の自己管理に取り組んでいただけるよう心のケア及び足病変を予防するためのフットケアにも努めています。

1) 国際糖尿病連合「Diabetes Atlas」第5版

2) この調査での「糖尿病有病者」は、HbA1c (NGSP) 値が6.5%以上であるか糖尿病の治療を受けている人が該当する。

3) 日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現状」2015年12月31日現在



柳先生の糖尿病教室の様子



管理栄養士と糖尿病看護認定看護師による外来指導



糖尿病透析予防診療チーム

第3回 バースセンター 同窓会

バースセンターが開設6年目

那須赤十字病院にバースセンターが開設されて今年で6年目になり、地域の皆様にも少しずつ、バースセンターでのお産が知られるようになってきました。現在は、「バースセンター専任助産師」6名が1つのチームとなり、妊娠中から医師と協働して妊婦健診を行い、バースセンターでのお産をバックアップするという体制を整えております。健診中から顔なじみの助産師がいて、お産の時にも心やすく家庭的な環境で、自宅のようにくつろげる場所、そんなバースセンターをお産場所として選んでくださった方々との同窓会も、今回で3回目となりました。

総勢約151名の参加

今年も、平成29年7月2日(日)に開催となりました。心配していたお天気が問題なく、総勢151名の参加者をお迎えしたマイタウンホールは、とても賑やかでした。今回は平成28年度に出産された方々にお集まり頂きました。「この日のために筑波から来たよ。」「こんなに大きくなったんですよ」といった声もあちこちから聞かれ、お産に関わった助産師達との再会は特に感動的な様子でした。

親子ふれ合い遊びやスライドショー

同窓会は毎年バラエティーに富んだ内容ですが、今回は、当院の刑部保育士による「親子ふれ合い遊び」、バルーンフェアリーはとさんによる「バルーン制作ステージパフォーマンス」、ヨガインストラクター渡邊智美さんによる「産後Yoga」、バースセンタースタッフの作成したお産の思い出いっぱい「スライドショー」の4プログラムでした。13時から終演まで家族みんなで体を動かしたり、手作りのお面を作ったり、バルーンパフォーマンスにわくわくしたり、はしゃぐ子どもたちにはらはらしたりと、充実したひとときとなりました。最後のスライドショーは、本当なら、静かにしみじみと鑑賞していただきたいところでしたが、そこは家族立ち会いのバースセンター、上映している大画面の前には、元気に子どもたちが駆け回っていました。

お産や育児を取り巻く環境

お産や育児を取り巻く環境が、どんな風になっても、生まれてくる我が子に向けられる優しいまなざしは、ずっと変わらないと私たちは信じています。

みなさん、是非バースセンターで私たちとともに、お産をしませんか。

4階バースセンター助産師 渡邊 悦子



手作りお面を作成中



刑部保育士による親子ふれ合い遊び



お母さんと一緒にニコニコの子供達



バルーン制作ステージパフォーマンス

第3回病院祭 「マイタウンまつり2017」を開催しました！

3回目となる病院祭テーマは「もっとCross ～第三章～『来れば体感ホスピタルワールド』」

平成29年10月14日（土）、今回で3回目となる病院祭「マイタウンまつり2017」を開催しました。

今回のテーマとして、「もっとCross ～第三章～『来れば体感ホスピタルワールド』」と銘うって開催しました。当日は、約900人の地域住民が来場し、多くの方々と触れあうことができました。

様々な体験やイベントを実施

今回も、調剤体験や医療機器体験、体力測定、血管年齢測定など医療に関することはもちろんのこと、地元高校生の吹奏楽、かかりつけ医推進案内、チーム医療紹介、がんと生活など盛り沢山のイベントを企画しました。

そのうちのひとつ、新たな体験に「災害時の対応」「患者体験や看護師体験」を実施しました。体験者からは、「災害時の対応は勉強になった」「看護師の人達と話しができとても参考になった」と大変好評でした。

今後も地域のみなさまとの交流

来場者のアンケートには「子供が楽しめる企画が沢山あり嬉しい」「色々な体験ができてとても良かった」「職員のみなさんがとても親切だった」等ご感想がありご好評をいただくことができました。

那須赤十字病院は今後も地域密着型の病院として、地域住民のみなさまとの交流を深めるイベントを今後も企画していきたいと思えます。



大田原女子高校の吹奏楽は超満員
素晴らしい演奏力とパフォーマンスで最高のステージに



血管年齢測定
今回は沢山の方が測定できました。



看護師体験
初めての体験に子供達もドキドキ。



医療機器体験 当院の医療技術の紹介や医療体験を行いました。医療機器を用いた体験は貴重な体験です。



与一くんも登場！



津軽三味線の演奏
生演奏の三味線はとても迫力あるステージに



調剤体験
薬が苦手な子供達も好きになるかな。



災害時の対応避難所編
災害時は身体のケア・心のケアが大切です。



模擬店も大盛況

『冬が来るまえに・・・感染症の予防対策は万全ですか?』

感染管理認定看護師 仲澤 恵

インフルエンザやノロウイルスなど、毎年冬になると流行する感染症。
 今年は、すでにRSウイルス感染症が猛威を振るっています。備えあれば憂いなしというように、
 早めの対策で感染症を予防しましょう!!

◆どうして冬になると感染症が蔓延するのでしょうか？

- ・低温・低湿度を好むウイルスにとって、寒い乾燥した冬が最適な環境となり感染力が強くなる。
- ・空気が乾燥すると、咳やくしゃみの飛沫に含まれたウイルスが遠くまで飛びやすくなる。
- ・冬になると寒さのため人の免疫力が低下する。
- ・空気の乾燥に加え、体内外が乾燥する。鼻や喉の粘膜が乾き傷みやすくなりウイルス感染を起こす。

◆予防対策：感染経路を絶つ（飛沫感染・接触感染を防ぐ）・・・免疫力を高める（予防接種をする）

- ★咳エチケット：ウイルスに感染した人の咳やくしゃみでウイルスを含んだ飛沫は1～2m飛びます。この飛沫を周囲の人が吸い込んで感染が拡大します。せきやくしゃみなど症状のある間は、飛沫に病原体を含んでいるかもしれないので、周りに人がいる際にはマスクを着用しましょう。
- ★手洗い：帰宅後、咳やくしゃみを手で押さえた後、食事前、トイレの後、調理前後は、石けんでよく洗い、流水で十分に流しましょう。その後清潔なタオルやペーパータオルで水を拭きとって乾かしましょう。アルコール消毒は、風邪やインフルエンザなどの予防には効果的です。ただ噴霧する・塗るのではなく、十分な量を手にとり、まんべんなく乾くまで擦込みましょう。
- ★予防接種：インフルエンザ予防には、ワクチン接種が効果的です。接種すればインフルエンザに絶対にかからない、というものではありませんが、ある程度の発病を阻止する効果があります。たとえかかって症状が重くなることを阻止する効果があります。ワクチン接種による効果が出現するまでに2週間程度を要することから、毎年12月中旬までにワクチン接種を終えることが望ましいと考えられます。



マイタウン・マイホスピタル
ミニニュース

救護活動を実施しました。

男体山の登拝祭にて/7月31日(月)

7月31日深夜から8月1日まで、日光市にある男体山の登拝祭が行われ、当院も救護活動を実施しました。

当院の医師・看護師の他、日本赤十字社栃木県支部・整骨災害救護奉仕団の方も参加し、無事に終了しました。



怪我をした患者さんの処置の様子

与一まつりに参加しました。

150人が流し踊りに参加/8月4日(金)

地元大田原市で開催される与一まつりの流し踊りに、医師、看護師をはじめ、総勢150人が参加しました。



参加された職員のみなさん 本当にお疲れ様でした

病院ホームページ バナー広告募集

病院ホームページのトップページに広告を掲載しています。

■掲載位置

- A:全ページ左側の病院が指定する場所。
- B:全ページ下部の病院が指定する場所。

■掲載位置

A 枠:縦70ピクセル×横220ピクセル
サイズ 30KB以内

形式 gif, jpg, png形式

B 枠:縦70ピクセル×横230ピクセル
サイズ 30KB以内

形式 gif, jpg, png形式

■掲載期間

一ヶ月を単位とし、最長1年

■募集枠

A 枠:3

B 枠:4

■掲載料金

A:15,000円/枠/月

B:10,000円/枠/月

■申込み・問合せ

総務課広報係 ☎0287-23-1122(代表)

E-mail: nrchp@nasu.jrc.or.jp

ホームページアドレス: <http://www.nasu.jrc.or.jp/>

「プラタなす」に広告を掲載しませんか

病院広報誌「プラタなす」に掲載する有料広告を募集しています。

■広告の大きさ 縦30mm×横95mm

■掲載期間 1号単位(4回/年発行)

■募集枠 最大4枠

■掲載料金 20,000円/枠

■掲載期間 発行号単位

■申込み・問合せ

総務課広報係 ☎0287-23-1122(代表)

演奏会のお知らせ

後援会主催のクリスマスコンサートを開催します。

日 時: 12月22日(金) 15時開演

場 所: 那須赤十字病院 マイタウンホール

那須赤十字病院後援会会員募集のお知らせ

平成20年に地域住民の保健衛生及び健康の保持増進を図るため、那須赤十字病院の整備と拡充に協力し、公的医療機関としての本病院が適正かつ円滑に運営されるよう支援するとともに、日本赤十字社事業の発展に寄与するため、「那須赤十字病院後援会」を設立いたしました。

つきましては、この趣意をご理解いただきまして、皆様方のご賛同ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

問合せ: 那須赤十字病院 総務課 ☎0287-23-9945

献血にいこう!

「血液を確実にお届けするために」

～あなたの善意が患者さんの尊い命を救います～

日 時: 平成29年12月28日(木)

場 所: 那須赤十字病院 時間外入口(献血バス)

問合せ: 那須赤十字病院 社会課 23-1122(代表)

400ml献血のご協力をお願いします。

今月の表紙

平成29年度の栃木県防災訓練が大田原市で開催され、当院も救護班1班とDMAT隊1班が参加しました。

那須赤十字病院に隣接する、中田原工業団地内で実施、他関係機関との連携を再確認する訓練になりました。



編集後記

日に日に寒くなっています。コラムにもあったようにしっかりと予防して元気に年末年始を迎えましょう。

総務課 主事 深谷 梨恵

本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください!

抽選で3名様に「CroKuma救護服ぬいぐるみ」「CroKumaナースぬいぐるみ」「赤十字マグカップ」をプレゼントいたします。以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・メールにてご応募ください。

●応募先

郵送/ 〒324-8686 大田原市中田原1081-4

那須赤十字病院 総務課 プラタなす第19号 プレゼント係

FAX/ 0287-23-3004

宛先「総務課 プラタなす第19号 プレゼント係」

メール/nrchp@nasu.jrc.or.jp

件名「プラタなす第19号 プレゼント係」

●応募締切り 2017年11月30日(木)

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

那須赤十字病院

基本理念

マイタウン・マイホスピタル
～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さんの立場を尊重し、患者さんに信頼される病院をつくりたい。
3. 日々の研鑽を惜まず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.19

発行日 2017年11月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <http://www.nasu.jrc.or.jp> (印刷) 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷